

講義名	スポーツ社会学		授業形態	
担当教員	水野 英莉	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限	
		単位数	2	履修開始年次
			ナンバリング・コード	SOC263

主題と概要

現代社会では、スポーツは私たちの社会生活のあらゆる側面と結びついて大きな社会現象となっています。たとえば、オリンピックやサッカーのワールドカップなどは、政治や経済などと密接にかかわっており、影響も多大です。スポーツはどのように発展してきたのでしょうか。また、どのような影響を社会に与えるに至ったのでしょうか。現代ではスポーツに大きな意義や価値を見出すようになっていますが、必ずしも良い面ばかりではなく、暴力やハラスメント、差別や排除など様々な問題も抱えています。スポーツを「する」「みる」だけでなく、スポーツを科学的な視点で客観性をもって理解できるように、講義を進めていきたいと思っています。

この講義の特徴として、スポーツに関わる映画を素材として扱うという点があります。映画は見る人の着目点や解釈が分かれるものもおもしろいところです。受講生の多様な意見から学べるものも多いためです。

もうひとつ大きなテーマとして、「自分で学べる」ようになることを、この講義では設定していますので、課題の分量は多いです。人生100年時代、人間は一生学び続ける必要があります。様々な課題を通じ、学ぶ力を高め、講義への「コミットメント」が求められます。

到達目標

- (1) スポーツ社会学の基本を理解できるようになる。
- (2) スポーツの特徴やスポーツの今について理解できるようになる。
- (3) スポーツを通して人間と社会について理解を深められるようになる。
- (3) 「自分で学べる」ようになる。

提出課題

- 毎週必ず課題があります。
- ・事前課題（講義前に行う予習課題）
 - ・講義内課題（個人課題やグループ課題）
 - ・事後課題（講義後におこなう復習課題）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題、コメント、質問等に、回答する。

評価の基準

- ・事前課題（講義前におこなう予習課題）30%
 - ・講義内課題（個人課題やグループ課題）30%
 - ・事後課題（講義後におこなう復習課題）40%
- ただし、それぞれの割合以上できていることが合格条件。

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎週課題があります。
- ・「自分で学べる」ようになることを求めますので、かなりの努力が必要です。今年度から講義形式を大幅に変更しています。
- ・人の解答を書き写したり、AIなどに頼ることは、厳しく対処します。得点になりません。
- ・課題を行うには教科書が必要になります。必ず準備してください。
- ・グループワークも多くあります。（約6名程度でグループとなり、複数名いるグループでは、積極的な発言と協力的な姿勢が求められます。
- ・映画は英語音声で、日本語字幕の場合が多いです。これに対応できることを求められます。

教科書

・よくわかるスポーツ文化論	井上俊・菊幸一	ミネルヴァ書房	2500	9784623088393
---------------	---------	---------	------	---------------

参考図書

その他

必要に応じ、資料等を配布する。

授業計画

- パート1 近代スポーツの成立と発展
1. オリエンテーション 予習課題のやり方
 2. 近代スポーツの成立と発展
 - p.9-9 近代スポーツとは
 - p.10-11 近代オリンピックの誕生
 - p.154-155 イギリスから世界へ
 3. 近代スポーツの拡大
 - p.40-41 スポーツとナショナルリズム
 - p.42-43 スポーツと階級関係
 - p.50-51 ママチャリズムの解体
 4. 映画視聴『炎のランナー』前半 事後課題
 5. 映画視聴『炎のランナー』後半 事後課題

- パート2 スポーツとジェンダー
6. スポーツとジェンダー
 - p.50-51 性差とジェンダー
 - p.52-53 スポーツにおける男性中心主義
 - p.54-55 女性スポーツの発展
 - p.56-57 フェミニズムのメディア・イメージ
 - p.172-174 セクシュアル・ハラスメント
 7. 近代スポーツのゆくえ
 - p.14-15 近代スポーツのゆくえ
 - p.60-61 スポーツにおける精神と身体
 - p.92-93 遊びとスポーツ
 - p.158-159 アメリカ型スポーツの発展
 8. 映画視聴『スケートキッキング』前半 事後課題
 9. 映画視聴『スケートキッキング』後半 事後課題

- パート3 日本のスポーツ文化
10. 日本のスポーツ文化
 - p.56-59 女子マラソン
 - p.148-149 駅伝
 - p.104-105 市民マラソン
 - p.152-153 集団主義と精神主義
 11. スポーツと教育
 - p.96-97 『部活』の文化
 - p.174-175 体育：バウハラ
 - p.90-91 子どもとスポーツ
 - p.94-95 学生スポーツ
 12. グッズ講師による講義
 13. 映画視聴『コーチ・カーター』前半 事後課題
 14. 映画視聴『コーチ・カーター』後半 事後課題
 15. スポーツは人間形成に役立つか
 - p.98-99 スポーツは人間形成に役立つか

- 予習と復習
- 1 予習：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 2 本題：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 3 本題：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 4 予習：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 5 本題：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 6 本題：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 7 予習：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 8 本題：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 9 本題：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）
 - 10 予習：事前課題にそなえる（120分）復習：講義内容のふりかえり（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目では、スポーツに関連する具体的な事例を通じて、スポーツについて知り、同時に社会の仕組みや文化・生活について知識を深めることを目的としている。また、社会学やジェンダー論の社会理論や視点に照らして学ぶ。

スポーツ社会学で学ぶ社会学やジェンダー論の理論や視点、グローバルな社会と身近なスポーツを関連づけてみることでできる能力は、よりよい人間社会の実現、新しい社会や文化を創造していくために必要である。

講義内「種々の統計資料を見てそこから読み取る能力や、ディスカッションを通じて聞き取り・表現の能力を養う。

社会的な研究方法の理解、およびコミュニケーション能力を身につけることで、社会生活、日常生活に実践的に活用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- ・講義開始前に、必ず大学のメールアドレスとパスワードを確認しておいてください。
- ・キャンパスクロスやレスポンスを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考

- ・基礎知識の準備
- ・社会学の知識が必要になりますので、「社会学基礎」や「社会学概論」、「社会問題論」、「ジェンダー論」の履修を推奨します。